Sureであること

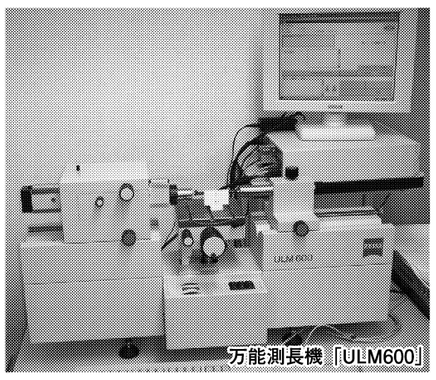
IAJapan JCSS0188　JCSS　JET ISO9001:2000 JET-0263

当社は認定基準としてJIS Q 17025（ISO/IEC 17025）を用い、認定スキームをISO/IEC　17011に従って運営されているJCSSの下で認定されています。
JCSSを運営している認定機関（IAJapan）は、アジア太平洋試験所認定協力機構（APLAC）及び国際試験所認定協力機構（ILAC）の相互承認に署名しています。
当社は国際MRA対応JCSS認定事業者です。JCSS 0188は当標準室の認定番号です。

校正は当社にお任せ下さい

【長さ】マイクロメータ
ブロックゲージ（比較測定法による）
【電気（直流・低周波）】直流電圧発生装置
直流電圧測定装置

電子計測器・度量衡の校正
株式会社 宝 栄
栃木県宇都宮市宝木本町1192－27
TEL.028-665-4494　FAX.028-665-4495
キャリブレーションセンター
栃木県宇都宮市石那田町140－3
TEL.028-678-5445　FAX.028-665-5667


万能測長機「ULM600」

http://www.houei.jp　E-mail　info@houei.jp

JCSSはあなたの安全と未来を支えます

JCSS

NITE認定センター（IAJapan）では、計量法トレーサビリティ制度（JCSS）において校正事業者登録制度を担い、「日本のもの作りにおける計測の信頼性確保」を20年間支えてまいりました。IAJapanは、JCSSを通じて、これからも日本のもの作りに貢献してまいります。

● NITE認定センターJCSSの紹介ページ
http://www.iajapan.nite.go.jp/jcss/index.html
● JCSS 20周年記念シンポジウムの開催結果と資料
開催結果：http://www.iajapan.nite.go.jp/jcss/pdf/jcss20_result.pdf
資料：http://www.iajapan.nite.go.jp/jcss/pdf/jcss20.pdf

独立行政法人製品評価技術基盤機構（NITE）　認定センター（IAJapan）　TEL：03-3481-8242 / E-mail：JCSS@nite.go.jp

安全と信頼の証をつなぐ
計量標準供給と校正サービス

執筆者＝製品評価技術基盤機構（NITE）認定センター（IAJapan）

製造や取引の現場では日ごろさまざまな計測、分析機器を利用しているが、その計測結果は信頼できるものであるだろうか。もしそれらの信頼性が失われたとしたら製造の安全面や取引の信頼性に大きな影響を与えることになるであろう。JCSS（計量法校正事業者登録制度、Japan Calibration Service Systemの略）はこれら計測の信頼性を支える「校正事業者」を国際規格に基づき登録する制度であり、運営は製品評価技術基盤機構認定センター（IAJapan）が実施している。JCSSの利用状況とその取り組みを統計データ、JCSS運営側の声などを通して紹介する。

JCSSの概要

200種以上の計量器が登録対象

JCSS制度は1993年11月1日の創設以来、2013年に20周年を迎えた。これを記念して同年12月にはイイノホール（東京都千代田区）で「JCSS20周年記念シンポジウム」が開催された。多くの方々に来場いただいたことにまず感謝を申し上げたい。

JCSSは計量法に基づく校正事業者登録制度であり、JCSS登録・認定された事業者（以下、JCSS登録事業者）は、以下の特徴を持つ信頼性の高い校正事業者であると言える。

①国家計量標準への計量計測トレーサビリティーを満たす校正が可能である。

②校正事業者として備えるべき能力を定めた国際規格（ISO／IEC17025）に適合しており、技術、運営能力とも

国際水準での信頼の証

JCSS校正証明書

に高い水準を持つ。

JCSS登録の対象は、国家計量標準の供給体制が整備された計量法関係法令で規定する「計量器等の種類」として、現在計200種類以上の計量器などが定められている。

JCSS事業者が発行するJCSS標章付校正証明書（以下、JCSS校正証明書）は、計測器のユーザーをはじめとする第三者に対し、一目でその校正結果の信頼性が証明できる。

例えばユーザー企業などでマネジメントシステム規格（ISO9001、ISO／TS 16949、ISO 2200など）の認証を取得する場合、社内の計測機器の校正をJCSS登録事業者から受けていれば、計測機器はこれら規格のトレーサビリティーの要件を満たしていることを認証機関に対し容易に証明できるというメリットがある。JCSS校正証明書は12年度の発行実績では年間45万枚を超えており、トレーサビリティーの証として広く浸透している（図1）。

さらにJCSS標章に「ILAC－MRA標章」が併記されたJCSS校正証明書は、計量計測トレーサビリティーの有効な証として、国内のみならず国外でも受け入れ可能となる（図2）。これはJCSSを運営しているIAJapanが国際的・地域的な校正機関・試験所認定機関の集まりであるILAC（国際試験所認定協力機構）およびAPLAC（アジア・太平洋地域試験所認定協力機構）における相互承認（MRA）に、加盟していることで実現したものである。

ILAC－MRA標章付きJCSS校正証明書は海外における校正結果の信頼性の証として利用できるため、国内企業の円滑な海外進出に貢献することができる。なお、IAJapanではJCSSの他にも国際的にも通用する認定プログラムを運営している。詳しくは、IAJapanホームページをご参照いただきたい。

利用しやすいJCSSへ

登録事業者検索システムリニューアル

JCSS登録事業者数は、14年3月末時点で260事業所である（図3）。どのような校正事業者が登録されているのか、所在地はどこにあるのか、どんな校正ができるのかなどはIAJapanホームページの「JCSS登録事業者検索システム」で従来から検索可能であったが、14年2月にリニューアルを行い検索機能の充実を行った。生まれ変わったJCSS登録事業者検索システムをぜひご体験いただきたい。

①これまで同様「登録区分」毎の検索に加え、より詳細な「計量器の種類」での検索が可能になった。

②事業所名、住所、計量器等の区分、種類など「フリーワード検索」での検索が可能になった。

③検索結果を「ひらがな順」「都道府県順」「登録番号順」で並べ替えが可能になった。

今回のリニューアルは外部からの要望を受けて実現したものである。ユーザーニーズに応えより利用しやすいJCSSを実現させるため、今後とも皆さまのご意見、ご要望を賜りたい（電子メール＝jcss@nite.go.jp）。

図1 広く浸透するJCSS校正証明書
◆登録区分別のJCSS校正証明書発行状況

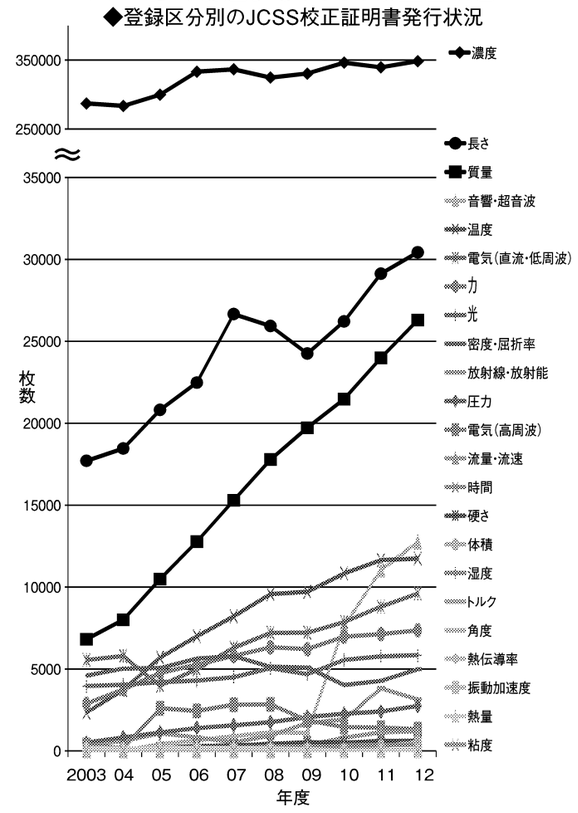
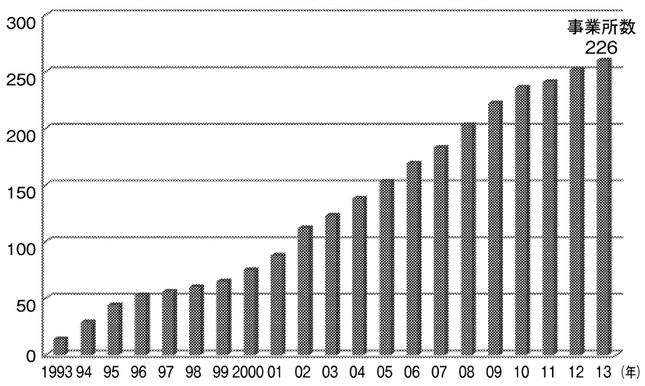


図2 「ILAC－MRA標章」が併記されたJCSS校正証明書は国内外で計量計測トレーサビリティーの証となる

図3 JCSS登録事業所数の推移



◆IAJapanホームページ
（http://www.iajapan.nite.go.jp/jcss/）
◆JCSS登録事業者検索システム
（http://www.iajapan.nite.go.jp/jcss/lab/index.html）

HRC/HV JCSS硬さ基準片
日本工業規格準拠

JIS,ISO準拠
高精度
硬さ基準片
www.ystl.jp

株式会社 山本科学工具研究社
〒273-0018 千葉県船橋市栄町2－15－4
電話（047)431－7451(代表)FAX（047)432－8592

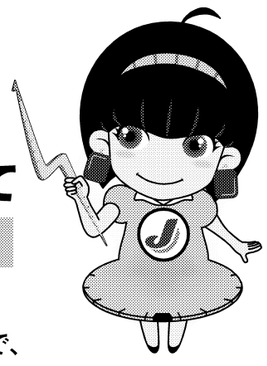
信頼と技術の
JEMIC

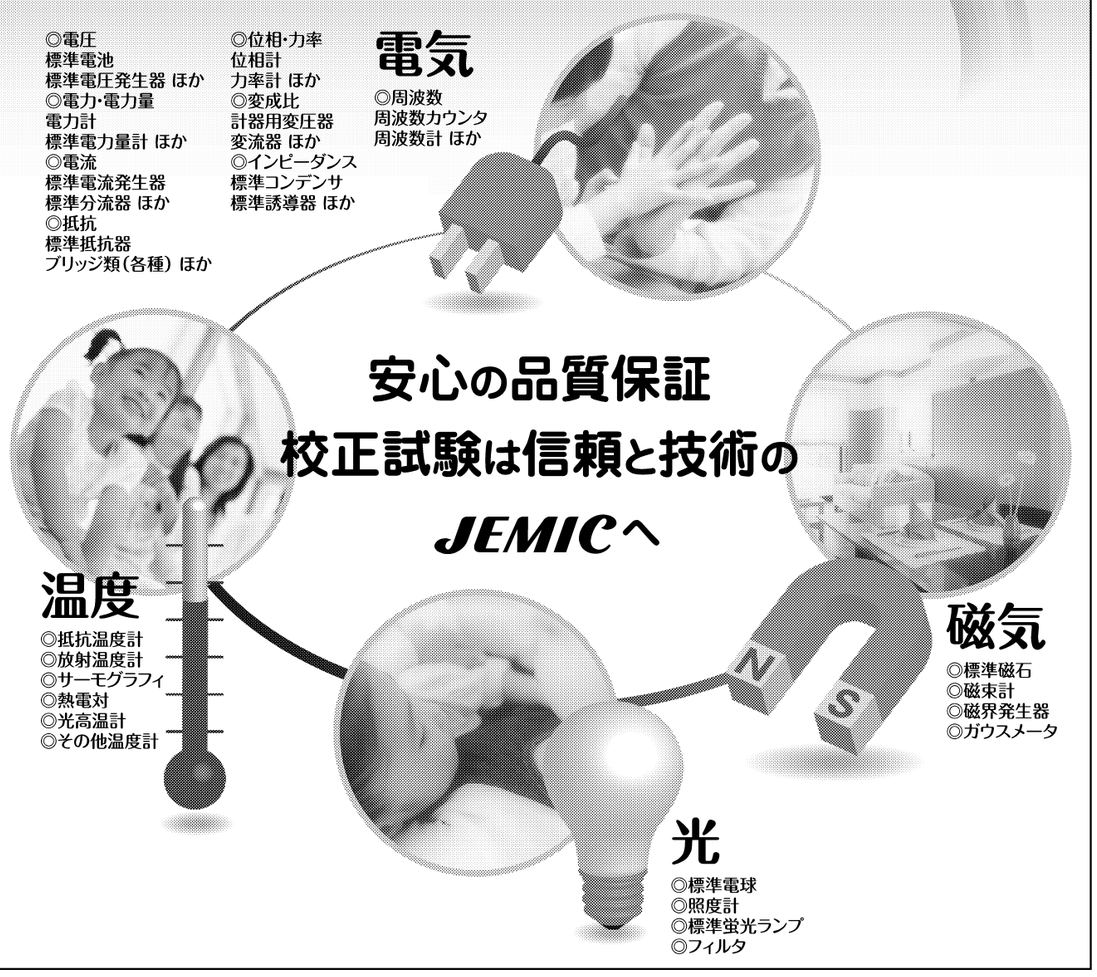
企業ニーズに応えるネットワークと、
永年にわたる研究を基盤とする実績。
校正試験のことなら、JEMICにご相談ください。

微小電力 JCSS校正範囲拡張!　**LCRメータ** JCSS校正開始!
サーモグラフィ（0℃～400℃） 一般校正開始!
関東エリアは、無梱包でお引き取り!

JEMICは、電気・温度・光・時間（周波数）について
JCSS校正を行っています。
詳細は JEMIC 検索

▶「JCSS」ロゴマーク付きの校正証明書はISO/TS 16949等の規格の要求に対応できます。
▶ JEMICでは、電気や温度などの測定技術からISO/IEC 17025、ISO 10012や不確かさまで、多岐にわたるセミナーを開催しています。是非、初任者研修など、社員教育にご利用ください。
▶ お客様のご希望の場所に出向いて行う出張セミナーも承っております。


JEMIC
イメージキャラクター
「ミクちゃん」



標準器・計測器の校正試験については下記へお問い合わせください

日本電気計器検定所　本社　〒108-0023　東京都港区芝浦4-15-7　Tel.(03)3451-1181(代)
[校正試験窓口]Tel.(03)3451-6760　Fax.(03)3451-6910　http://www.jemic.go.jp/

中部支社　〒487-0014 春日井市気噴町3-5-7　Tel.(0568)53-6331(代)　[校正試験窓口]Tel.(0568)53-6336　Fax.(0568)53-6337
関西支社尼崎事業所　〒661-0974 尼崎市若王寺3-12-20　Tel.(06)6491-5031(代)　[校正試験窓口]Tel.(06)6491-5052　Fax.(06)6491-4348
九州支社　〒815-0032 福岡市南区塩原2-1-40　Tel.(092)541-3031(代)　[校正試験窓口]Tel.(092)541-3033　Fax.(092)541-3036